

文芸 さくらがわ

俳句

【大和俳句愛好会】

まとまらぬ夢に母いて梅香る

鈴木 ふみい

祈願の灯入れて若葉の溜不動

古橋 益子

今日一日子に癒されて花見かな

安達 幸子

更衣森林浴の歩をのぼす

鈴木 つぎ

若草や少年の声変声期

岩瀬 のぶ子

去年の巢や帰りてうれし夏つばめ

田中 はつひ

芽吹く山くれんとするや夕日燃ゆ

皆川 和子

遠き日をしみじみ思うおぼろ月

鈴木 登美子

一日が事なく終り更衣

田代 てい子

働ける事の幸せ春菜まく

代田 とし

【一般投稿】

遠き山遠くに見えて花辛夷

木下 善信

短歌

【花の室 木崎集】

飲み込みしことばいくつを閉ぢ込めて過ぎ行

塚田 沙玲

けざんざんぶりのいちにち

石浜 今日子

なでしこの魂まねて生き生きとひとすじの道

大久保 まさ子

歩いてゆかん

櫻井 ハル子

湖を渡るそよ風顔に受け雲上人のごとくた

塩谷 明子

ずむ

鈴木 とみ

苦瓜の窓辺に伸びるカーテンに遮光のすだれ

塚本 幸子

ゆれつつ光る

西岡 和子

ぬばたまの夜の帳りにたをたと衣をたたむ

野村 幸男

ねむの細き葉

深谷 快子

手術医の保証しうれし十年に求めし日記の残

小林 美瑛子

る一年

岡野 禮子

こでまりの花純白にひっそりとしなやかに咲

小田 美穂子

く庭の片隅

小田 美穂子

短歌

【岩瀬秋歌会】

白富士を背にひた走る若者に日本の未来のた

浜野和操

すき渡したし

五月女 静江

陽だまりに古きセーターときゆけば十年前の

大関 にち子

うすほこり立つ

泉 三郎

吹く風に垂れし氷柱の水滴の斜となりてわが

渡辺 しな子

窓をうつ

孫志穂の成人式に臨むあき振り袖姿に思ひ溢

るる

梅の花

はらからの四人集へる写真など一枚もなき白

日出国

南天の葉ごとにつもりし淡雪をばざりと落と

泉 三郎

す春の光りは

泉 三郎

まだ光りと思ふ水揺りて浮ききし鳩の小さき

鈴木 美津子

羽ばたき

大関 節子

【岩瀬秋歌会】

弓状にしなひて揺るる雪柳「ねこのしつぽ」と幼ははしやぐ

一夜きを硝子戸を打つ春嵐まどろみもなく夜

は明け初む

短歌

【岩瀬秋歌会】

山間の水の流れに笹の葉は花びら乗せて永久

角田 玉枝

の旅路に

坪井 ゆき子

パンジーの花に囲まれ己が位置占めて芍薬赤

長谷川 玲子

き芽萌え出づ

石川 喜代

畦道に芝桜の花咲き誇り緑の早苗水面に揺る

石川 喜代

人の舞ふ姿に似しとふ「ひとりしづか」の花

石川 喜代

のうつし絵白妙美し

石川 喜代

【一般投稿】

元気だなあと他人に言われて何となくさびし

さを感じず八十五路生く

広瀬 宣

6月25日(月)
市長と話してみませんか?
～市民の日～

市民の皆様の声を行政に反映するために、市長とお話ししてみませんか。話題はなんでも結構です。皆様のご来場をお待ちしています。

- 時間 / 9時～12時・13時～16時
- 場所 / 市役所 岩瀬庁舎
- 問合先 / 秘書広報課 (☎58-5111・75-3111 代表)